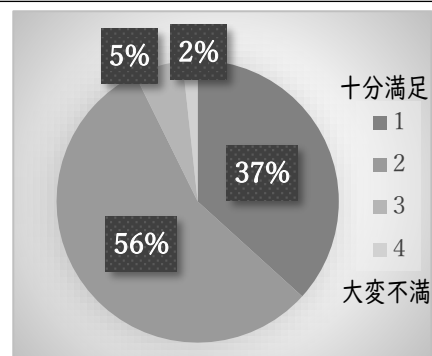


第53回鹿児島県公立小・中学校教頭会研究大会アンケートの概要

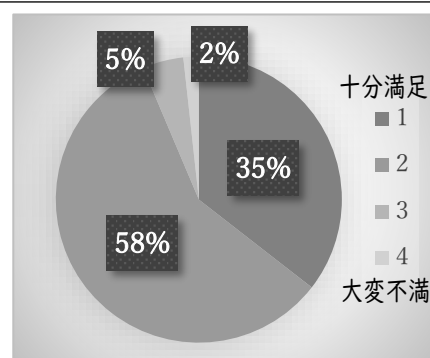
1. 地区教頭会における研究は、組織的・計画的になされましたか。

「計画的に進めて、研究を深められた」「異動があっても発表できる準備ができていた」などの肯定的な意見が多数であった。また、「地区で自主研究会を行っている」という実践もあった。一方で、「地理的な面から、組織的に進めにくい」「発表者の負担が大きくなっている」などの意見もあった。



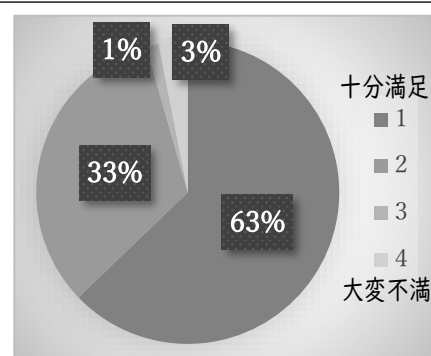
2. 県教頭会の研究は、地区教頭会と関連性があり、ニーズに応えるものでしたか。

「各地区の状況の違いが見えてよかった」「教職員の専門性をどのように高めるか考えさせられた」といった意見が多かった。また、義務教育学校や特別支援教育に関する情報交換ができたことに対する肯定的な意見があった。一方で、「自分の学校でどのように生かせるか分からない」などの意見も見られた。



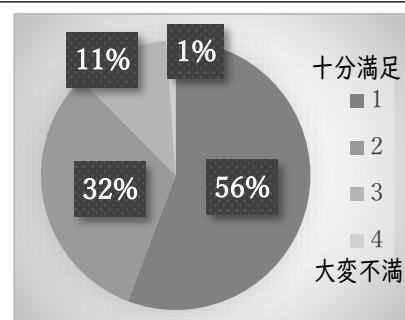
3. 研究大会の進行は、スムーズに運営されましたか。

「充実した2日間であった」「時間通りの進行であった」などの意見が多かった。また、市内の教頭先生方の運営協力に感謝する意見が多かった。一方で、「日程の短縮」や「駐車場の混雑」に関する意見も見られた。

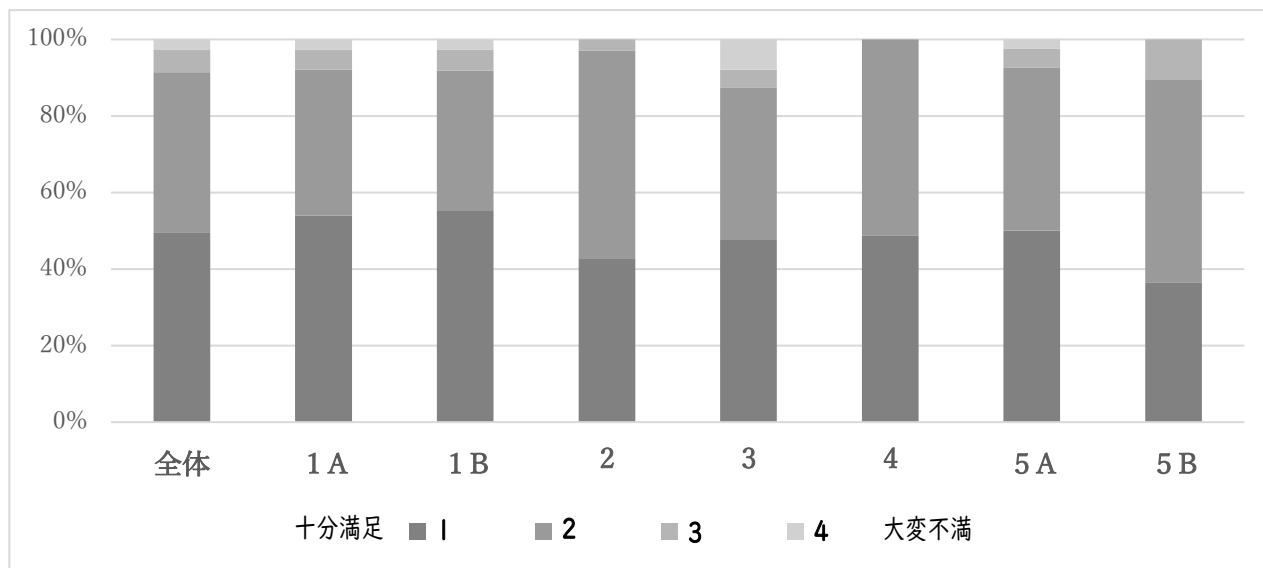


4. 講演の内容は、満足できるものでしたか。

「学校運営にもつながる内容だった」「地域との連携のヒントになった」など、管理職としての資質向上につながる意見が見られた。また、「視野を広げることができた」「情熱をもって接する大切さを再認識した」など個人の生き方に影響を受けた意見もあった。一方で、「教頭業務に直接的な内容が聞きたい」「プレゼンが見えにくい」などの意見も見られた。

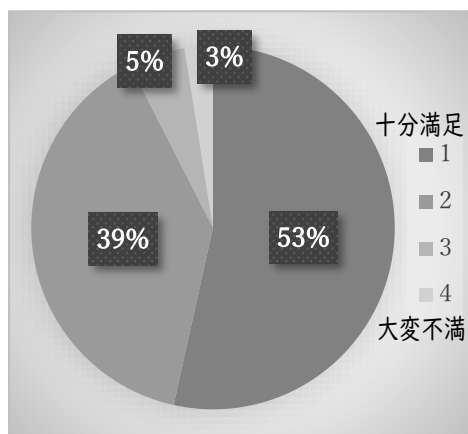


5.分科会の内容は、満足できるものでしたか。

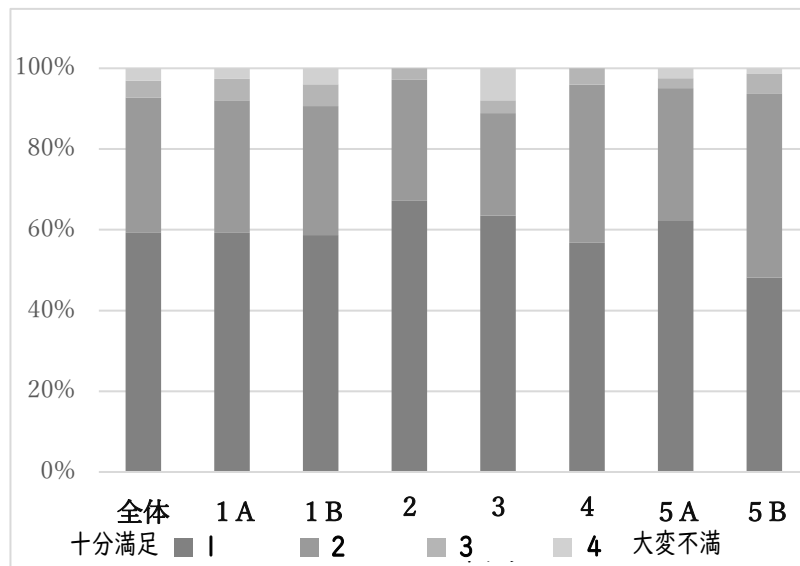


「自校の課題解決のヒントとなった」「各地域や学校の具体的な取組がよく分かり、地域の実情がよく分かった」「指導・助言で理解が深まった」など、肯定的な意見が多数見られた。また、発表者や司会者への労いの意見もあった。一方で、「グループ協議の時間を増やしてほしい」「協議が重ならないように柱を工夫してほしい」などの要望もあった。

6- (1) 全体会場の満足度



6- (2) 分科会場の満足度



7 その他（自由記述）

「情報交換の場としての価値」「QRコードによるアンケート実施の推進」など肯定的な意見が見られた。また、最も多かったのは発表者や運営に関する方々への感謝の言葉であった。

改善してもらいたい点として「開催曜日の検討」「研究大会の日程」「提言数の削減」「分科会の座席の広さ」に関する意見が挙げられた。

令和元年度 県教頭会研究大会 アンケートの回答

毎年、たくさんいただいているアンケートの意見について、主なものを回答いたします。

- 1 Q 研究大会を木・金の日程で固定できませんか。
A 研究大会を木・金に実施したいという意向はあるのですが、給与支給日や祝日及び会場確保（ホテルの空き状況）の関係で、木・金に固定できないのが現状です。

- 2 Q 研究大会を1日開催にできませんか。
A 学校の業務が忙しいという意見をいただく一方、「充実した2日間であった」という意見も多数あります。特に、新任教頭の場合は、他の教頭との情報交換が大変貴重な時間になっております。また、研究大会を通じて各地の取組状況を知り、自校の教育課題の解決に生かすよい機会でもあります。
これらのことを踏まえ、充実した研究大会とするには、現行の日程での開催が適当であると考えます。

- 3 Q 分科会のグループ編成を校種別、規模別にできませんか。
A 提言には小学校と中学校の両方のものがあり、また、大規模校の実践もあれば、小規模校の実践もあります。グループでの意見交換の中で、それぞれの状況が分かる方がいた方がよいのではないかと考えます。また、「小・中間の情報交換ができて良かった」という意見も毎年多数ありますので、小中連携の視点からも現在のような編成でよいと考えております。
しかしながら、「当面する課題」の話合いでは、業務改善の話題も多くなっていることを踏まえると、校種別のグループ編成の場面があってもよいのではないかと考えます。ただ、グループ編成の変更や時間配分など、運営面での課題があります。これらについて、継続的に検討していきます。

- 4 Q 提言を各分科会2本にすることはできませんか。
A 現在の分科会のスタイルは、九州大会と同じスタイルにしております。また、第12期（R2～4年）までは提言計画が決まっております。来年度から、第13期の在り方を検討する時期となります。皆様の御意見や九公教の動向も踏まえながら、検討していきます。

- 5 Q 駐車場の場所や混雑はどうにかなりませんか。
A 会場周辺には、現在借用しているMBCグラウンドの他に、適当な駐車場を確保することが難しい状況です。また、新体育館建設や予算面から、今後継続的に駐車場を確保することが難しくなることも予想されます。そこで、今後は、公共交通機関や有料駐車場などの利用を検討するなど、各自での対応をお願いすることも考えております。
運営面では、公共交通機関の利用を促進するための工夫を検討していきます。